

						舟	如	嵐	僅	陣	扇	忍	致	把	吟
						シユウ ふね ふな	ジョ (ニヨ)	あらし	キン わずか	ジン	セン おうぎ	ニン しのぶ しのばせる	チ いたす	ハ	ギン
						舟	如	嵐	僅	陣	扇	忍	致	把	吟
						舟	如	嵐	僅	陣	扇	忍	致	把	吟
						ノ	く	ノ	ノ	フ	一	フ	一	一	、
						さ(さ)舟 を浮かべる	突如 として 雨が降り出した	嵐 が来る	僅(僅)か な手勢	陣 を構える	扇 の 的	恥を 忍ぶ	結果が 一致 する	事態を 把握 する	内容を 吟味 する
						ささぶね	とつじょ	あらし	わずか	じん	おうぎ	しのぶ	いっち	はあく	ぎんみ

					革	面	手	嘲	惜	騎	逸	堪	浦	漂	綱
					かわ カク	(つら) おも メン おもて	て シュ た	あざけ チヨウ る	おしい セキ おしむ	キ	イツ	たえる (カン)	うら	ただよう ヒヨウ	つな コウ
								嘲	惜	騎	逸	堪	浦	漂	綱
								嘲	惜	騎	逸	堪	浦	漂	綱
								、	、	、	、	、	、	、	く
				革表紙	黒革	湖の面	供花を くげ 手向ける	失敗を 嘲(嘲)笑 する	惜しい 結果	騎馬 隊	偉人の 逸話	任に 堪える	津々浦々 つつ	空を 漂う 雲	手綱 を握る
				かわびようし	くろかわ	おもて	たむける	ちようしよう	おしい	きば	いつわ	たえる	つつうらうら	ただよう	たづな

読みの練習

詩吟	しぎん	僅差	で勝つ	きんさ
十把 ひとからげ	じっぱ	僅少	の差異	きんしょう
目的に合致 する	がっち	残り 僅か		わずか
オリンピックの招致	しょうち	砂嵐		すなあらし
一致団結	いっちだんけつ	春の嵐		あらし
思いを致す	いたす	経験の欠如		けつじょ
忍術 使い	にんじゅつ	舟航	の便がある	しゅうこう
傷みを忍ぶ	しのぶ	小舟	に乗る	こぶね
声を忍ばせる	しのばせる	舟歌		ふなうた
扇状地	せんじょうち	政治団体の綱領		こうりょう
扇子	せんす	命綱	をつける	いのちづな
扇風機	せんぷうき	綱引き		つなひき
扇 であおぐ	おうぎ	岸に漂着 する		ひょうちやく
円陣 を組む	えんじん	フイが漂流 する		ひょうりゅう
陣地 を守る	じんち	ボートが漂う		ただよう
背水の陣	はいすいのじん	気品が漂う		ただよう

読みの練習

				自嘲(嘲) 気味に笑う	寸暇を 惜しむ	別れを 惜しむ	ライバルに 惜敗する	愛惜 の念	一騎当千	騎手	騎士	好機を 逸する	目的から 逸脱する	逸材 が生まれる	聞くに 堪えない
				じちよう	おしむ	おしむ	せきはい	あいせき	いっきとうせん	きしゅ	きし	いっする	いつだつ	いつざい	たえない

書きの練習

内容をぎんみする	事態を はあくする	結果が いっちする	恥を しのぶ	おうぎ の的	じん を構える	とつじよ として 雨が降り出した	ささぶね を浮かべる	たづな を握る	空を ただよう雲	きば 隊	おいしい 結果	供花を たむける	湖の おもて	かわびようし	目的に がっちする
吟味	把握	一致	忍ぶ	扇	陣	突如	ささ舟	手綱	漂う	騎馬	惜しい	手向ける	面	革表紙	合致
思いを いたす	せんじようち	せんす	せんぷうき	おうぎ であおぐ	えんじん を組む	経験の けつじよ	こぶね に乗る	ふなうた	いのちづな をつける	つなひき	岸に ひようちやくする	フイが ひようりゆうする	ボートが ただよう		
致す	扇状地	扇子	扇風機	扇	円陣	欠如	小舟	舟歌	命綱	綱引き	漂着	漂流	漂う		